

ニート・ヒッキーのための

名言集



「障子を開けよ 外は広いぞ」

……それができたら苦勞はしない。

すべてのニート・ヒッキーに送る

珠玉の名言集！

障子を開けよ、外は広いぞ

—— 豊田佐吉

それができたら苦勞はしない。

はじめに

ニート・ヒッキーのための名言集。第一章ネガティブ風味から第三章にかけてポジティブに切り替えていきますので、ネガティブになりたくない方は第二章からどうぞ。

目次

第一章 ニート・ヒッキー的思考

第二章 ニート脱出のヒント

第三章 やる気を起こしてみる

第一章

ニート・ヒッキー的思考

—現状を表現してみる—

* * *

羊が何匹いるかは狼には関係なし。

—— ヴェルギリウス「農耕詩」

勤め人が何人いるかは、ニートには関係なし。

労働はいつさいを征服す。

—— ヴェルギリウス「農耕詩」

そういうことなら、俺は征服されていない。

家庭よ、閉ざされた家庭よ、私は汝を憎む！

—— ジイド「地の糧」

まあそういうこともあるよな。

結婚したまえ、君は後悔するだろう。結婚しないでいたまえ、君は後悔するだろう。

—— キエルケゴール

働きたまえ、君は後悔するだろう。働かずにいたまえ。

そのあたりはすでに自明の理。

生きるべきか、死ぬべきか、それが問題だ。

—— シェイクスピア「ハムレット・三幕一場」

今日も惰性で生きてます。

ただわれわれの曖昧で散漫な教育が人間を不確かなものにするのだ。

—— ゲーテ「ヴィルヘルム・マイステル」

とりあえずこうなったのは、俺のせいじゃないらしい。

世の中には創造する天才があるように、探す天才もあり、書く天才があるように、読む天才もある。

—— ヴァレリー「作家論」

休む天才もここにいるわ。

不幸に屈することなかれ、否、むしろ大胆に、積極果敢に、不幸に挑みかかるべし。

—— ヴェルギリウス「イーニード」

できるならしてるんだが。

一般的に人間は犬に似ている。ほかの犬が遠くで吠えるのを聞いて、自分も吠える。

—— ヴォルテール「歴史断章」

そして弱い犬ほど…

人間とは、一つの総合無限と有限、時間的なものと永遠なもの、自由と必然である。

—— ケルケゴール「死にいたる病」

人間とは、一つの勤勉と怠惰、コミュ障と八方美人、自由と必然である。

精神の闘いにおいては、独身者のほうが世帯者よりもずっと危険をおかशうる。

—— ケルケゴール「人生行路の諸段階」

なるほど、末期が多いわけだ。

現在は魅力ある女神なり。

—— ゲーテ「タッソー四幕四場」

ああ、だから俺ら現在から離れられずにいるんだな。

人間は自由であり、つねに自分自身の選択によって行動すべきものである。

—— サルトル「実存主義はヒューマニズムである」

言われなくても分かっているのだが。

いかなる人間も自分自身の掟に従って自由に生きたいと思う。

—— シラー「メッシーナの花嫁」

その結果が、これだよ。

神は勇者を叩く。

—— シラー「ヴィルヘルム・テル」

俺は優者ってことなのか？

魂を肉体から分離させるものは、生であって死ではない。

—— ヴァレリー「警句」

ああ、よく抜けてるもんな。

退屈はすべてを奪う、自殺する勇気さえも奪うのである。

—— スタンダール「恋愛論」

勇気って言うか、どうでもいい感は、ある。

パンさえあれば、たいていの悲しみは堪えられる。

—— セルバンテス「ドン・キホーテ」

PCさえあれば、たいていの悲しみは堪えられる。

第二章

ニート脱出のヒント

— 珠玉の名言 —

* * *

人間関係で悩んでいる人は、他人との折り合いの悪さで悩んでいるのではありません。自分との折り合いの悪さで悩んでいるのです。

—— ジョセフ・マーフィー

人のことはいいから、まず自分をみつめてみようか。

われらの目的は成功ではなく、失敗にたゆまずして進むことである。

—— スティーブンソン「語録」

それで、いいんだ。

教育の目的は性格の形成にある。

—— スペンサー「社会静力学」

親が、社会が失敗したなら、今度は自分で自分を教育すりゃいいんじゃないの？

意志の力で成功しない時には好機の到来を待つほかない。

—— ゲーテ

果報は寝て待つ。

喜びには悩みが、悩みには喜びがなければならない。

——ゲーテ「ファウスト」

今、悩んでいるもの無駄じゃない。

苦しみが残していったものを味わえ！苦難も過ぎてしまえば甘
美だ。

——ゲーテ「格言」

Mは無理だ。

人間は真実を見なければならぬ、真実が人間を見ているからだ
。

——ウィンストン・チャーチル「語録」

見られてる。

時として勇気は征服者の心さえ動かす。

——ヴェルギリウス「イーニード」

勇気を持って進め。

幸運は勇者に味方す。

——ヴェルギリウス「農耕詩」

勇気を持つと自信も持てる不思議。

運命は己れの道を見出すものなり。

——ヴェルギリウス「断片」

己の道は己で。

勇気は逆境における光である

——ヴォーヴナルグ「省察と格言」

いまがまさに逆境だとしたら。

逆境においても道理に耳を傾けるは賢明なり。

——エウリピデス「ヘクバ」

これらを読んでいる時点で、その資格は十分なほどにある。

死は、われわれがすべてを支払わねばならぬ借金なり。

——エウリピデス「断片」

裏を返せば全てを返せるその時は来る。今のうちに借金しておくのもいいかもしれない。

人生に執着する理由がなければいほど、人生にしがみつ়く。

——エラスムス「痴愚神礼讃」

しがみつ়くというよりぶらさがっているんだが、つまりそれは理由を持っているってことかい？

現在というものは、過去のすべての生きた集大成である。

——カーライル「随筆集」

なら、未来というのは、現在の集大成であるからこれから変えることはできるわけで。

失敗の最たるものは、なにひとつそれを自覚しないことである。

——カーライル「英雄と英雄崇拜」

いつだって自覚してるから自信がなくなる俺らは最たる失敗など

実はしていなかったのかもしれない。

友情関係は同等関係である。

——カント「友情について」

そしてそれは、必ずしも都合のよい関係とは限らない。

人は努力している間は迷うに極まったものである。

——ゲーテ

迷いまくってるよ。じゃあこれでも努力してるってことなのかな。

学者ぶった先生は、へりくつ屋の有力な仲間に入れたい。へりくつ屋の狩猟は観念を追っかけ回すのである。

——アラン「宗教語録」

よくわからんが、同意。

感謝は人間関係がうまくいくコツです。あなたは自分の夫に妻に、家族に友人に、上司に部下に感謝していますか？

——ジョセフ・マーフィー

いじけてるだけじゃ駄目だよな。

宗教はホタルのようなもので、光るためには暗闇を必要とする。

——ショウペンハウエル「断片」

今が暗闇がなら、これから光るための必要な期間とみていいかな。

愚かな知恵者になるよりも、利口な馬鹿者になれ。

——シェイクスピア「十二夜-一幕五場」

それならなれるかな。

自然でない行いは、自然でない混乱を生む。病気になった心は、聞こえぬ枕に秘密を打ちあける。

——シェイクスピア「マクベス-五幕一場」

もっと力を抜いて自然に任せてみようか。

苦痛は短く、喜びは永遠である。

——シラー「オルレアンの乙女」

それが、本当だとしたら。

賢者にまるで過ちがなかったとしたら、愚か者はまったく絶望するほかはないだろう。

——ゲーテ「箴言と省察」

絶望はしてない。だから惰性でもここにいる。

いかに生きるかを学ぶには全生涯を要す。

——セネカ「書簡集」

まだ、旅の途中なんだよ。

あなたの思想と感情をあらわすあなたの言葉は、あなた自身ばかりでなく他人をも癒す力を持っています。あなたは自分のためばかりでなく他人のためにもよい言葉を使う習慣を身につける必要があります。

——ジョセフ・マーフィー

必要なのは潜在意識へのアプローチ。

まず他人を許してからでないとなんにも自分を許すことはできません。

——ジョセフ・マーフィー

自分を愛することができないと、人を愛することもできないから。

現実の自分よりも理想の自分を愛しなさい。そして理想の自分で他人と接するべきです。これが他人から評価される秘訣です。

——ジョセフ・マーフィー

脳内で二次元に生きればよいのだな？

人間は明日の朝に対して、なにがしかの恐怖と希望と心配を持たずにはいられない。

——シラー「メッシーナの花嫁」

みんな、同じ。

なぜ、このように悪口が絶えないのか。人々は他人のちょっとした功績でも認めると、自分の品位が下がるように思っている。

——ゲーテ「格言と反省」

なので人の悪口は気にする必要はない。

疑義は哲学者の感知であり、哲学は疑義に始まる。——ソクラテス

これでいいのか？ 思った俺らは今から哲学者。

人生は不安定な航海だ。

——シェイクスピア「アテネのティモン-五幕一場」

その通りだよ。進むには羅針盤が必要なんだ。

多数の友を持つは、ひとりの友も持たず。

——アリストテレス「修辞学」

まあ…ひとりいればいいよな。ひとりいれば。

最も賢明なことは、自分を己れの打ち明け相手に行うことである。
。

——スタンダール「恋愛論」

自分くらいは、偽らずに生きたい。

恐怖には、恐怖に対する恐怖というものしかほかにはない。

——アラン「人間語録」

今抱えている恐怖は、すべて虚構なのか。

人間は誰ひとりとして、つつがなく煩いなき一生を送りえまい。

——アイスキュロス「供養する女たち」

そういうもんか。

いかなる場合にも、喜び大ければ大なるほど、それに先立つ苦しみもまた大なり。

——アウグスティヌス「告白」

今、苦しんでいるとすればその先に喜びがあると思っていいいのか？

予が人間である限り、予の祖国は世界なり。

——アウレリウス「自省日記」

ちっぽけな枠にとらわれなくていいのかな。

怒りは、しばしば道徳と勇気との武器なり。

——アリストテレス「断片」

最後に怒ったの、いつだっけ。

一日のうちに感じられ、かつ表現される愛情の分量には限度がある。

——ヴァレリー「断片」

無限を求めることはしなくていい。

豚となりて楽しまんより、人となりて悲しまん。

——ソクラテス

人が人らしく生きる理由は。

たとえ身体は奴隷なるも、精神は自由なり。

——ソフォクレス「断片」

いつだって、自由なんだ。本当は。

第三章

やる気を起こしてみる

—自分の足で歩きだす—

* * *

地球は死んだ歴史の断片ではなく、生きた詩だ。

—— ソロー「ウォーデン森林の生活」

人間もまた、地球の内であるのなら。

心の真の、医薬は哲学なり。

——キケロ「哲学談義」

つまりこれを読むみなは今、心のケアを自分で行おうとしている。

すべての不幸は未来への踏み台にすぎない。

——ソロー「冬-1841/1/20」

踏み台にするか、否かは、自分だ。

果実を食べる者は、少なくとも種子を植え付けるべきだ。

——ソロー「語録」

大いなる経済の環の中で、だな。

人間は自己の幸福の工匠である。

——ソロー「日記」

いっちょ、創ってみるか。

最高に到達せんと欲せば最低から始めよ。

——シルス「箴言」

今がその時か？

頑健な身体は力強い精神をつくる。

——ジェファーソン「ペーター・カーへの書簡」

ちょっと筋トレでもしてみるか。

過失を率直に告白するは、それが無罪となるひとつの段階なり

。

——シルス「箴言」

抱え込んでたら駄目なんだな。

口論にては真理はつねに失われる。

——シルス「箴言」

もうちょっと理性的になってみよう。

自分自身を知るのは楽しんでいる時か悩んでいる時だけだ。

——ゲーテ

なら、そろそろ「何もしない」を脱してみるか。

人生は地獄よりも地獄的である。

——芥川龍之介「侏儒の言葉」

人生につらくなったら「ショートコント”人生”！」って言ってみるといい。

お前の推測する義務とは、お前がそれを推測した瞬間からお前を束縛する。

——アミエル「日記-1858」

一度、全部リセットしてみようか。

偽りの立場において、いちばんひどいことは、それが終焉しないということである。

——アミエル「日記-1871/8/19」

これが本当の自分でないなら、そろそろ終わりにしてみようか。

実際に奴隷となるには、みずから奴隷だと信ずることでもって十分である。

——アラン「精神と情熱とに関する八十一章

ボロは着てても心は錦。

幸福は自主自足のうちにあり。

——アリストテレス「エウダイモス倫理学」

俺の幸福は、俺が決める。

戦争には決断、勝利には寛仁、敗北には鬪魂、平和には善意。

——ウィンストン・チャーチル「簾二次大戦回顧録-巻頭」

怠惰には釘バット。

怠惰は心の眠りだ。

——ヴォーヴナルグ「省察と格言」

そろそろ目を覚まさないや。

忍耐とは、希望の術である。

——ヴォーヴナルグ「省察と格言」

耐えがたきを耐え、忍びがたきを忍ぼう。

自然は人間の施す教育以上の影響力をそのうちにいただいている。

——ヴォルテール「モリエールの生涯」

だからたまには外に出てみるのもいいかもしれない。一人きりでも。

死を望むは臆病者の行為なり。

——オヴィディウス「書簡」

生きよう。

われより哲学を学ぶべきにあらず、哲学することを学べ。

——カント「語録」

まずはやってみよう。考えてみよう。今、ここから。

互いに自由を妨げない範囲で、わが自由を拡張すること、これが自由の法則である。

——カント「断片」

自由とは、自由とは。

純粹な喜びのひとつは、勤労後の休息である。

——カント「断片」

そのひとつをものにするためにちょっと部屋の片づけでもしてみるか。

汝は生きるために食うべし、食うために生きるべからず。

——キケロ「哲学談義」

人はパンのみにてあらず。でも難しいから最初は食うために生きてもいいと思うよ。

二人の王は一つの国には住めない。

——サーディー「ゴレスターン」

俺の王は俺だけでいい。

人生は相互の譲歩によるほか、社会で存続することはない。

——サミュエル・ジョンソン「怠け者」

たまには譲ってみるか。

王冠をいだく頭は、ついに安らかに眠るということがない。

——シェイクスピア「ヘンリー四世-二部三幕一場」

何も抱かない頭なら、安らかに眠ってもいいんじゃないだろうか。

俺のものはお前のもの、お前のものは俺のもの。

——シェイクスピア「しっぺ返し-五幕一場」

お前のものは俺のもの、俺のものも俺のもの。

……関係ないけどこれは、入学式にランドセルをなくしたのび太のために必死に追いかけたジャイアンが「友人のものは自分のものと同じように探す」といった意味の新解釈もある。漢気。

重荷をいだいた胸は打ち明ければ軽くなる。

——シラー「ドン・カルロス」

打ち明ける場所がなければ、丘の上に穴を掘って叫んでみるといい。

間の幸福の二つの敵は苦痛と退屈である。

——ショウペンハウエル「随筆集」

いますぐ退屈をやめよう！

遅延は失敗にまさる。

——ジェファーソン「語録」

いつかでは遅いから、いまからはじめてみようか。

子供は涙で命令し、聞いてもらえないと、わざと自分を傷つける

。

——スタンダール「恋愛論」

そろそろ大人になろうぜ。

正直ほど富める遺産はない。

——シェイクスピア「末よければすべてよし-三幕五場」

そろそろツンデレはやめて素直になってみるか。

信頼とは信頼に値する材料があるからするということではなく、
まず先に信頼してしまうことなのです。信頼されると人はそれに
こたえようとするものです。

——ジョセフ・マーフィー

自分の好きなものくらい、信じてみようかな。

汝自身よりすぐれたる忠告を言う者なし。

——キケロ「哲学談義」

答えは君の中に。

障子を開けよ、外は広いぞ

—— 豊田佐吉

そろそろ開けてみようかなあ

ニート・ヒッキーのための名言集

<http://p.booklog.jp/book/51349>

当書籍はカンパブックです。
もしよろしければこちらをご確認ください。

http://writer.huuryuu.com/00_kanpa.html

著者：斎賀 要

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/minazuki11/profile>

HP:ライターズエール <http://writer.huuryuu.com/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/51349>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/51349>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.